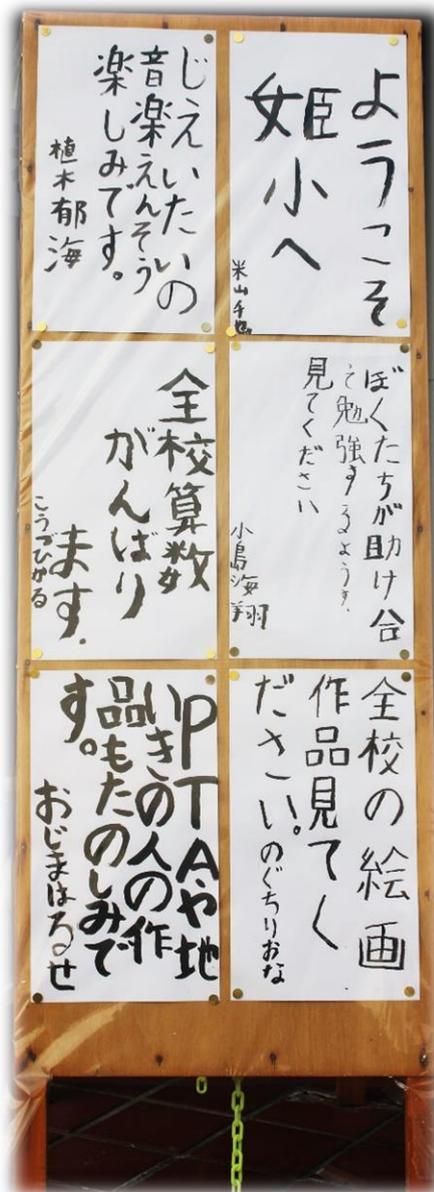


第6回 越後『学び合い』の会

2014年10月4日（土）

あの日の「感動」と「驚き」を今
子どもの姿と参加者の声で振り返る。



主催：子供に学ぶ教師の会

(代表 西川 純 上越教育大学教職大学院教授)

後援：新潟県教育委員会、上越市教育委員会、妙高市教育委員会、

糸魚川市教育委員会、上越教育大学、臨床教科教育学会

協賛：教育同人社

【 ご挨拶 】

去る10月4日に開催致しました、第6回 越後『学び合い』の会へのご参加、誠にありがとうございました。我々西川研究室一同は、過去の反省を活かし、前年度よりも良い会にしようと企画段階から話を進めて参りました。その中で、会場校である姫川原小学校の先生方や、子どもたちに支えられ、越後『学び合い』の会当日を迎えることが出来ました。当日の運営では我々の至らぬ点も多く、参加者の方々にも沢山ご助力いただきました。本当にありがとうございました。また、本会を開くにあたって、姫川原小学校の児童と教職員の皆様、並びに保護者や地域の方々から、ご理解とご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。細やかではございますが、第6回 越後『学び合い』の会の思い出を、当日の写真と皆様から頂戴致しました感想文を基に本紙にまとめさせていただきます。どうぞご覧下さい。

また、今回皆様に回答していただきましたアンケートを基に来年も更に発展させ、より良い会の企画・運営に尽力していく所存であります。またご縁があれば、次回の越後『学び合い』の会もよろしくお願ひ申し上げます。

2014年10月7日

《編集：上越教育大学教職大学院 西川研究室1年 野田大貴》

2014年10月4日

新潟県妙高市立姫川原小学校の児童58名が
全校算数で学び合いました。

そこでは、児童の保護者や地域住民が温かい
眼差しで子どもたちを見つめる姿がありました。

全国から集まった約80名の教師たちは、
「一人も見捨てない」教育の実現へと延びる
一筋の光を目の当たりにしました。



「姫川原小学校の先生方の努力、
取り組みの素晴らしさを
見させていただきました。」

「それぞれの人の想いが
伝わってきて良かった。」

「感動しました。」



いよいよ
始まります!!



「全校算数」って、
『学び合い』って…?



≪ 全校算数 ≫

さあ、やるぞ!



「面白い授業だと改めて思った。」



『学び合い』のプラス面とマイナス面をそれぞれ知ることができた。」



「子どもたちの生の姿が見られてよかった。」



「あまり構える必要がないと知った。」



「1つの授業の中での会話量、
課題に向かう時間の長さが
従来の授業とは違うと思った。」



「子どもたちが39分間ずっと
集中していたことが素晴らしい。」



「学校だけでなく、
様々な人が支えている様子から、
人と人のつながりの大切さを感じた。」



できた!!



「困った時に助けてくれる先生」も素敵だが、
「困った時に助けてくれる仲間」も素敵だなと思った。」



《 昼食 》



昼食は、地元の地域食である「笹寿司」と、地元でも有名な「たちばなの豚汁」をご用意いたしました。とっても美味しかったですね！

次は、
分科会！



《 分科会 》



分科会は、3つのグループに分けられました。それぞれの講演者が自らの実践を語り、異なる視点から「学び合い」を考える良い機会になったのではないのでしょうか？



号外!
メディアに進出!!



あの日の様子は地元の
新聞やテレビ番組でも
報道していただきました

2014年(平成26年) 10月9日(木曜日) (8)

特色ある学び 全校算数」の授業を公開した姫川原小



妙高頸南

妙高支局/〒944-0046
妙高市上町9-8
JCVビル1F
TEL0255-73-7912
FAX0255-73-8564

姫小の学び紹介

閉校記念「全校算数」も公開

今年度末で閉校し妙高市立新井小と統合される姫川原小(荒川圭子校長、児童58人)で4日、「閉校記念学習発表会」が開かれた。小規模校の特色を生かした「全校算数」の授業が公開されたほか、思い出に残る学習を描いた絵画などが展示され、子どもたちの学びを多くの人たちが見守っていた。

全校算数は毎週1回、全校児童が集まって算数を学び合う授業。学年ごとに課題が出され個々に正解を導き出す。全員達成を目標とするため上級生が下級生の指導役も務める。上級生の中には自分の課題を後回しにしても下級生の学びをサポートする児童もおり、教えることで自分の理解力をより高め、復習学習にもつながる。また、子どもたち同士の間にはコミュニケーション量も普段の授業と比べると格段に増えるという。

この日は、「越後一学び合い」の会(子ども衛隊音楽隊)による演奏会も開催された。

第2部は地元のコミュニティ協議会が主催し自己紹介や、子どもたちが学ぶ教師の会主催も合わせて開かれ、全国から100人近い教育関係者が同校の学びを参観した。保護者、地域住民も合わせ大勢の観衆に囲まれながらも、子どもたちは普段通りに生きいきと学習を進めた。

第2部は地元のコミュニティ協議会が主催し自己紹介や、子どもたちが学ぶ教師の会主催も合わせて開かれ、全国から100人近い教育関係者が同校の学びを参観した。保護者、地域住民も合わせ大勢の観衆に囲まれながらも、子どもたちは普段通りに生きいきと学習を進めた。



地域情報が満載の "JCVモバイル"

姫川原小 閉校記念～「全校算数」で絆深める

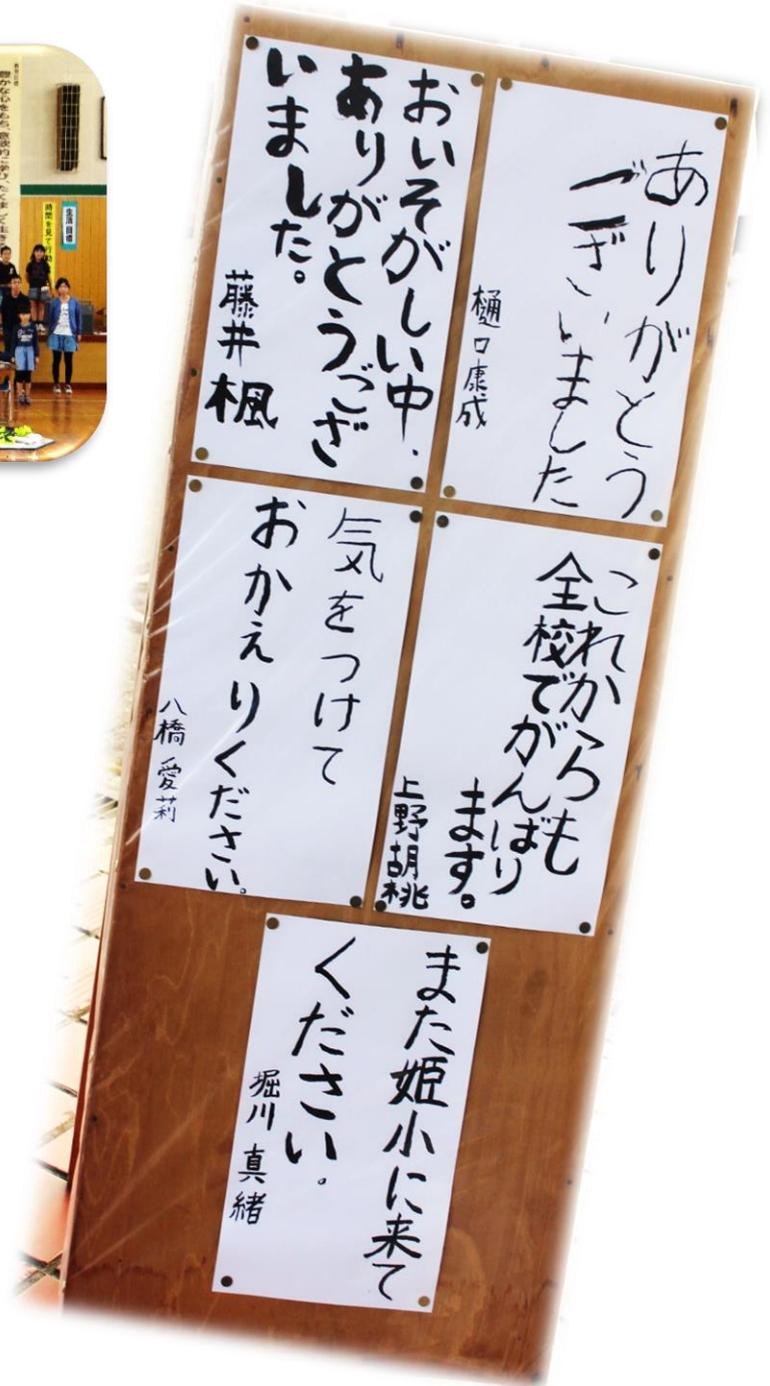
2014年10月6日 放送

妙高市立姫川原小学校でこのほど学習発表会が開かれ、全校生徒が協力して算数の問題を解く「全校算数」に挑戦しました。

[動画を見る\(ログイン\)](#)

(転載: <https://jcvmobile.jp/news/detail/id:6226> , 閲覧: 2014年10月9日 14:20)

今後も「つなげる」姫小魂！



全校算数の取組を重ねていく中で、子どもたちは大きく大きく成長しました。これから子どもたちが人生を歩んでいく中で、きっと全校算数での学びが役に立つ時がくると信じています。来年度、子どもたちには新たな仲間との出会いが待っています。姫川原小学校での思い出を胸に、また新たな環境の中で幸せな学校生活を送れることを願っています。

最後になりましたが、今回参加された皆様、姫川原地域の皆様のご多幸と、更なるご発展を祈念し、第6回 越後『学び合い』の会を閉じます。ありがとうございました。

《総務委員代表：上越教育大学教職大学院 西川研究室1年 荏戸翠》